



風光る

2022年6月3日 晴耕雨読号 発行者 坂野 直美

晴耕雨読（せいこううどく）



水無月みなづきになりました。もうすぐ梅雨つゆを迎えます。「晴耕雨読せいこううどく」という言葉がありますが、晴れた日は外で遊んでいる人も、雨の日どくしよは読書を楽しんでもらえたらと思います。1学期しんかんは新刊（新しい本）を毎月のように入れる予定です。利用するときは、学校図書館のマナーや返却期日を守ってください。

道をひらく言葉

『心が強くなる奇跡の絶景と運命を
変える言葉』
高橋かおる（編集）

「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、
本には多くの宝が眠っている。
そして、何よりも、宝を毎日味わうことがで
きるのだ。」

ウォルト・ディズニー（アニメーター）

心に沁みる言葉

『魔法の言葉2』
中井 俊巳・文

喜んで行い、そして
行ったことを喜べる人は
幸福である。

ゲート（詩人）

言葉を豊かに

お知らせ

「読み聞かせ」について

平戸中学校では、月に1回木曜日の朝に、地域のボランティアの方々が、読み聞かせをしてくださいます。毎回、楽しい時間です。今年度、保護者の皆様にボランティアを募集したところ、一名の方が参加してくださることになりました。第1回は、6月9日（木）の朝8:10から8:25まで。以降、7月8日、9月9日、10月7日、11月4日12月2日、1月20日、2月3日、3月3日の予定です。※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になることもあります。

本屋大賞の本をどうぞ！

『そしてバトンは渡された』 瀬尾まいこ 著

全国の書店員さんがおすすめする本屋大賞の本は、よく映画化されます。この作品も映画化され、多くの人に感動を与えました。

人を思いやることの大切さが、深く味わえる一冊です。

『ずいひつ エッセイ（随筆）はいかが？』



『ベスト・エッセイ 2021』 日本文藝家協会 編

この本の編集委員で小説家でもある、三浦しんさんの言葉を紹介します。「大きく変わった暮らしの中で、それでも私たちは喜びや悲しみや笑いを胸に抱いて生きている。変わったこと、変わらないことを、真空パックみたいに新鮮なまま詰めた一冊になりました。」角田光代さんや林真理子さんなど有名な作家のエッセイも読めます。一度手に取ってみてください。



学校図書館通信で紹介している本はすべて学校図書館にあります。ぜひ、よんでみてください。